

# パネル展示・活動アピールしませんか？

※非営利の活動に限ります

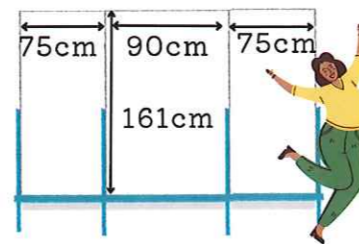
申込方法：参加申込QRコードからお申込み下さい

問い合わせ先：murai.mane@e-mail.jp (村井)

**締め切り 2025年1月15日 (水)**

## ●パネル展示 (先着10団体まで)

- ★ホールにポスターを掲示し、呼びかけや研究発表ができます
- ★展示パネルは3面鏡のような作りでマグネットで掲示します
- ★パネルサイズは高さ161cm、幅(左右)75cm(中央)90cmです



## ●活動アピール (12:45~13:45) (先着10団体まで)

- ★ステージ上でアピールすることが出来ます
- ★アピール時間に限りがあるため下記の要件を厳守してください
- ①1団体、発表者1名のみ登壇
- ②3分アピール 各団体、持ち時間は3分間です
- ③発表形式は自由です
- ④PowerPointや動画を使用する方は事前に提出して頂きます



## アクセス

自治医科大学・自治医科大学附属病院 地域医療情報研修センター

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-1

JR宇都宮線「自治医大駅」下車 徒歩10分

※お車でお越しの際は「病院駐車場」をご利用の上 駐車券を会場までご持参ください



徒歩の場合



駐車場マップ

当会は、公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団の事業の一環として行っております

同時開催

第29回在宅ケアネットワーク栃木

「認知症をもっと知ろう！」

第3回在宅医療推進フォーラムin栃木

「リハビリテーションが地域をつむぐ」

知的障がい者も  
認知症になるの？

認知症リハビリって  
なんのこと？

# 障がい × リハビリ

～地域共生社会を目指して～

2025年 2月11日(火/祝)

10時～15時30分

自治医科大学 地域医療情報研修センター大講堂

※WEB配信あり

リハビリって  
病院以外でも  
出来るの？

えっ、それも  
リハビリ？

参加費：500円(当日現金精算)

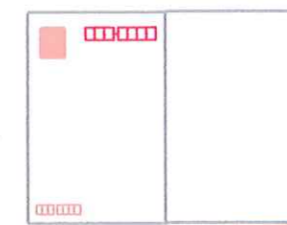
- ★在宅ケアネットワーク栃木年会費として領収します
- ★在宅医療推進フォーラムin栃木(午後)のみの参加は無料
- ★WEB参加は無料(通信が不安定になることがあります)

申込方法：QRコードから申込 又は 往復はがきを郵送

★当日参加も可能ですが、受付の混雑緩和のため事前申し込みにご協力をお願いします



又は



往復はがきの場合

必要事項：氏名、所属、当日連絡のつく電話番号

「在宅ケアネットワーク栃木申込」と記入

郵送先：真岡西部クリニック

〒321-4364 栃木県真岡市長田5-8-1

主催：在宅ケアネットワーク栃木

共催：在宅医療助成勇美記念財団・全国在宅療養支援医協会

後援(予定を含む 順不同)：栃木県 栃木県医師会 小山地区医師会 宇都宮市医師会 那須都市医師会 芳賀都市医師会 栃木県歯科医師会 栃木県薬剤師会 栃木地域薬剤師会 全国介護事業者連盟栃木支部 栃木県栄養士会 とちぎケアマネジャー協会 栃木県理学療法士会 栃木県作業療法士会 栃木県言語聴覚士会 栃木県リハビリテーション専門職協会 栃木県手をつなぐ育成会 日本ダウン症協会栃木支部 つくしの会 栃木県看護協会 栃木県訪問看護ステーション協議会 栃木県弁護士会 栃木県司法書士会 成年後見センター・リーガルサポートとちぎ支部 栃木県社会福祉士会 栃木県精神保健福祉士協会

本講演会は日本医師会生涯教育講座 午前1.5単位 午後1.5単位が取得可能です  
カリキュラムコード13 【医療と介護および福祉の連携】



# 障がい × リハビリ

～地域共生社会を目指して～



## プログラム

10:00 開会挨拶

総合司会：石井容子（世話人・自治医科大学看護学部）

大会長：黒崎史果（世話人・菅間在宅診療所）

第29回在宅ケアネットワーク栃木  
「認知症をもっと知ろう！」

10:15 基調講演 1

「知的障害と認知症」

木下大生さん（武蔵野大学人間科学部社会福祉学科）

11:05 休憩

11:15 基調講演 2

「認知症の人に対するリハビリテーション～穏やかな在宅生活の継続に向けて～」

山口智晴さん（群馬医療福祉大学）

12:05 討論

座長：鶴岡優子（世話人・つるかめ診療所）

12:15 昼食

★飲食物の販売はありません  
★自治医大内のコンビニは遠いため昼食持参を推奨します

12:45 アピールタイム

座長：三瀬順一（世話人・愛媛県立南宇和病院）

第3回在宅医療推進フォーラムin栃木  
「リハビリテーションが地域をつむぐ」

13:45 来賓挨拶

14:00 シンポジウム

座長：細井直人（世話人・だいなリハビリクリニック）

永島徹（世話人・NPO法人風の詩）

「作業療法士もしている熱気球イベント  
～療法士のポートフォリオワーカーとしての可能性～」  
塩田典保さん（一般社団法人Roots4）

「地域でイキイキ生きる・暮らす～アイリブとちぎ～」  
日高愛さん（アイリブとちぎ）

「小児部門 言語聴覚士の働き方」  
山崎育さん（ミニオンズ日光代表理事 ミニオンズラボ児童発達支援 保育所等訪問支援）

「定期巡回（本業）とリハビリテーション（市民活動）を通じて地域を明るくする」  
小野雅之さん（ひなたあんしんサポートセンター佐野/地域を明るくするリハビリテーション専門職の会）

「一人じゃなくて、みんなでなんとかがる社会を目指して」  
濱野将行さん（一般社団法人えんがお）

15:30 2026年告知

次回大会長：鶴岡優子

当会は、公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団の事業の一環として行っております

【第29回大会長あいさつ】

黒崎史果

（菅間在宅診療所所長／社会医療法人博愛会地域包括総合ケアセンター長）

2010年から毎年恒例の楽しみとして参加してきた「在宅ケアネットワーク栃木」。毎回新たな発見と繋がりを得てきましたが、15年目は大会長を拝命し、世話人の皆様の力をふんだんにお借りして準備を進めて参りました。在宅医療ではあらゆる年齢、疾患、社会的背景をもつ方が対象となるため、自らの人生とリンクした学びを得ることが多くあります。私は障がいを持つ娘を産んだとき、仕事での経験や、似た境遇にある患者家族の励ましに大きな力を得ました。その一方で、今まで触れることのなかった世界を知り、これまでの知識不足と、様々な可能性への無関心を誠にもったいなく感じました。その「知らないともったいない知識」を皆様と共に改めて学びたいと思い、このテーマを選びました。沢山のご参加を心よりお待ちしております。

演者紹介

木下大生さん

武蔵野大学人間科学部教授

（博士：リハビリテーション科学 社会福祉士）

経歴：知的障害者通所授産施設指導員 国立重度知的障害者総合施設のぞみの園研究部研究科係長 聖学院大学人間科学部社会福祉学科准教授を経て現職

研究テーマ：知的障害で認知症症状がある人の支援 知的障害で罪を犯した人の支援 ソーシャルワーク（主としてマクロ領域）  
出版等：（単著）『認知症の知的障害者への支援：「獲得」から「生活の質の維持・向上」へ』2020年ミネルヴァ書房  
木下大生・鴻巣麻里香編著『ソーシャルアクション！あなたが社会を変えよう』2019年ミネルヴァ書房 他

演者紹介

山口智晴さん

群馬医療福祉大学リハビリテーション学部教授

経歴：2004年に国際医療福祉大学を卒業 作業療法士として群馬県内の医療機関で勤務 2013年に群馬大学大学院博士課程を修了 2017年から現職 2022年同大学副学部長

活動：前橋市認知症初期集中支援チームリーダー 群馬県作業療法士会副会長 群馬県オレンジ・チューター 県内外の介護予防活動普及展開事業や認知症施策に関するアドバイザー 地域づくりNPO法人の理事や監事などをつとめる

## 在宅ケアネットワーク栃木 過去のテーマ（大会長）

- 第1回（1997）暮らしの中の医療を目指して（大会長：太田秀樹）
- 第2回（1998）実りある人生－私たちにできること－（太田秀樹）
- 第3回（1999）みんなで支えあう在宅ケア－私たちが今、できること－（高橋昭彦）
- 第4回（2000）21世紀の在宅ケアを目指して（趙 達来）
- 第5回（2001）きりひらこう 新世紀の在宅ケア（太田秀樹）
- 第6回（2002）支えられる福祉から、参加する福祉へ（関 隆郎）
- 第7回（2003）普通に逝くこと 暮らすこと（高橋昭彦）
- 第8回（2004）地域で育む心のケア（奥谷雅生）
- 第9回（2005）食べること、生きること（趙 達来）
- 第10回（2006）コミュニティが支える在宅ケア 地域力を考える（太田秀樹）
- 第11回（2007）コミュニティケアを担う人材の育成（三瀬順一）
- 第12回（2008）いまを生きる・ホスピスケア（高橋昭彦）
- 第13回（2009）頑張らない介護生活（趙 達来）
- 第14回（2010）多職種がキャピタリーとなって推進する栃木の在宅ケア（大澤光司）
- 第15回（2011）在宅ケアネットワーク栃木の15年を振り返り、これからへ（飯島恵子）
- 第16回（2012）頑張れ、地域の市民活動（太田秀樹）
- 第17回（2013）在宅への流れ～栃木県の今、そして今後～ 挑戦です「在宅医療・在宅ケアの先進県を目指して！」（粕田晴之）
- 第18回（2014）いのちに寄り添う在宅医療～人生の最終章を家で迎えるために、私達ができること～（趙 達来）
- 第19回（2015）子どもの気持ちと生命（いのち）に寄り添う～小児在宅ケアの今、そして、これから～（高橋昭彦）
- 第20回（2016）2035年の地域包括ケア～在宅ケアのかたち～（太田秀樹）
- 第21回（2017）いつまでも愛する街ですこやかに（大澤光司）
- 第22回（2018）親を看取る、自宅で看取る、平穏死で逝く在宅医療（趙 達来）
- 第23回（2019）認知症を通じて、誰もが自分らしく生きることを考える～自分らしく生きるために必要なことは…～（永島 徹）
- 第24回（2020）「お互いさまの処方箋」健やかに、心豊かに、幸せに～社会的処方～（村井邦彦）
- 第25回（2021）withコロナ時代の社会的処方【WEB】（村井邦彦）
- 第26回（2022）withコロナ「これまで」と「これから」～新型コロナが教えてくれたもの～【WEB】（鶴岡優子・黒崎史果）
- 第27回（2023）テクノロジーがつなぐとちぎの在宅ケア／わが街の在宅ケア～栃木から全国に伝えたいこと～（趙 達来）
- 第28回（2024）「食べる」を考えよう！／食と尊厳（柏瀬昌史）